

施設の維持管理に関する計画書（中間処理施設）

【共通事項】

受け入れる産業廃棄物の性状の分析の方法	原料受け入れ時、自社による検査及び分析検査を実施 その他についてはSDS、文献等により性状を把握する
受け入れる産業廃棄物の計量の方法	廃棄物が飛散しない容器により計量する
施設への産業廃棄物の投入量の管理の方法	計量された廃棄物容器より焼却炉に投入する数量を管理
産業廃棄物の流出等の異常時の対応の方法	該当設備は停止し、異常の処置を行うと共に関係部署に通報する
施設の定期点検及び機能検査の方法	通常点検(稼働時)・・・燃烧状態、温度、CO濃度等 月時点検(1回/月)・・・洩れ、ボルト類の緩み等
飛散の防止方法	廃棄物及び焼却灰は周囲を覆った屋根付の保管場所に保管又、 廃棄物は焼却炉にて高温で燃烧し、熱分解し無臭の排ガスとして煙突より大気放出される為、飛散・流出・悪臭は生じない
流出の防止方法	同上
悪臭発散の防止方法	同上
害虫発生の防止方法	
騒音の防止方法	ファンは周囲を覆う等、防音措置が成されている為、 騒音はなく振動もない
振動の防止方法	同上
構内の清潔保持方法	日常業務として整理整頓・清掃を実施し、運転記録に記載する
維持管理に関する点検、検査等の記録の保管方法及び保管期間	専用ファイルに綴じ、所定の保管欄で保管する 期間10年

